

平成 26 年度^春_(秋)学期末試験問題・解答

試験実施日 平成 27 年 1 月 29 日 2 時限

出題者記入欄

試験科目名 微分積分学 III		出題者名 佐藤 弘康	
試験時間 60 分	平常授業日 木 曜日 2 時限		
持ち込みについて <input checked="" type="radio"/> 可 不可 可、不可のいずれかに○印をつけ 持ち込み可のものを○で囲んでください			
教科書・参考書・ノート(手書きのみ・コピーも可)・電卓・辞書 その他 ()			
本紙以外に必要とする用紙 解答用紙 0 枚 計算用紙 0 枚			
通信欄			

受験者記入欄

学 科	学 年	ク ラ ス	学 籍 番 号	氏 名

採点者記入欄

採 点 欄	評 価

- 1 $\lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{xy - x^3}{x^2 + 2y^2}$ の極限値が存在すればその値を求め、存在しないならばその理由を述べよ。

平面上の点の座標を $(x, y) = (r \cos \theta, r \sin \theta)$ と極表示すると、 $(x, y) \rightarrow (0, 0)$ は $r \rightarrow 0$ である。すると、

$$\begin{aligned} \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{xy - x^3}{x^2 + 2y^2} &= \lim_{r \rightarrow 0} \frac{\cos \theta \sin \theta - r \cos^2 \theta}{\cos^2 \theta + 2 \sin^2 \theta} \\ &= \frac{\cos \theta \sin \theta}{\cos^2 \theta + 2 \sin^2 \theta} \quad \text{【3 点】} \end{aligned}$$

となり、この値は θ に依存するので、 $r \rightarrow 0$ のときの極限値は 存在しない ことがわかる。【2 点】

- 2 関数 $f(x, y) = y^2 e^{xy}$ に対し、次を求めよ。

(1) 全微分 df

$$df = y^3 e^{xy} dx + (2 + xy) y e^{xy} dy \quad \text{【3+3 点】}$$

(2) $f_{xx}(x, y)$

$$f_{xx}(x, y) = y^4 e^{xy} \quad \text{【3 点】}$$

(3) $f_{yy}(x, y)$

$$f_{yy}(x, y) = (x^2 y^2 + 4xy + 2) e^{xy} \quad \text{【3 点】}$$

(4) $f_{xy}(x, y)$

$$f_{xy}(x, y) = (3 + xy) y^2 e^{xy} \quad \text{【3 点】}$$

(5) 領域 $D : 0 \leq x \leq 2y, 0 \leq y \leq 1$ における 2 重積分

$$\iint_D f(x, y) dx dy$$

$$\begin{aligned} \iint_D y^2 e^{xy} dx dy &= \int_0^1 \left(\int_0^{2y} y^2 e^{xy} dx \right) dy \quad \text{【4 点】} \\ &= \int_0^1 [y e^{xy}]_0^{2y} dy \\ &= \int_0^1 (y e^{2y^2} - y) dy \quad \text{【4 点】} \\ &= \left[\frac{1}{4} e^{2y^2} - \frac{1}{2} y^2 \right]_0^1 \\ &= \left(\frac{1}{4} e^2 - \frac{1}{2} \right) - \frac{1}{4} \\ &= \frac{1}{4} e^2 - \frac{3}{4} \quad \text{【4 点】} \end{aligned}$$

- 3 $x^2 + 2xy - y^2 = -8$ の陰関数を $f(x)$ とする. このとき, 次の問に答えよ.

(1) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を求めよ.

$F(x, y) = x^2 + 2xy - y^2 + 8$ とおくと, $f(x)$ は $F(x, y) = 0$ の陰関数である. したがって,

$$f'(x) = -\frac{F_x(x, y)}{F_y(x, y)} = -\frac{2x + 2y}{2x - 2y} = -\frac{x + y}{x - y}. \quad \text{【5 点】}$$

(2) $f(x)$ の極値を求めよ.

$x = a$ で $f(x)$ が極値 $b = f(a)$ をとるとする. つまり, $F(a, b) = 0$ より,

$$a^2 + 2ab - b^2 = -8.$$

さらに, $f'(a) = 0$ であるから, (1) の結果より $a + b = 0$. $b = -a$ を上式に代入することにより, $-2a^2 = -8$. つまり, $a = \pm 2$ であり, このとき $b = \mp 2$ である. 【5 点】
次にこれらが極値を与えているか判定する.

$$f''(a) = -\frac{F_{xx}}{F_y} = -\frac{2}{2a - 2b} = -\frac{1}{a - b} \quad \text{【5 点】}$$

であるから, $f''(2) = -\frac{1}{4} < 0$, $f''(-2) = \frac{1}{4} > 0$ である. 以上のことから, $f(x)$ は, $x = 2$ のとき極大値 -2 をとり, $x = -2$ のとき極小値 2 をとる. 【5 点】

- 4 2 変数関数 $f(x, y) = x^4 + y^2 + 2x^2 - 4xy + 1$ の極値を求めよ.

連立方程式

$$f_x = 4x^3 + 4x - 4y = 4(x^3 + x - y) = 0 \quad \text{【2 点】}$$

$$f_y = 2y - 4x = 0 \quad \text{【2 点】}$$

の解を求める. 第 2 式より $y = 2x$ を第 1 式に代入すると,

$$0 = 4(x^3 - x) = 4x(x - 1)(x + 1)$$

となり, $x = 0, \pm 1, y = 0, \pm 2$ を得る. 【2 点】

したがって, $f(x, y)$ は原点, $(1, 2), (-1, -2)$ で極値をとる可能性がある.

$$f_{xx} = 4(3x^2 + 1) > 0 \quad \text{【2 点】}$$

$$f_{xy} = -4 \quad \text{【2 点】}$$

$$f_{yy} = 2 \quad \text{【2 点】}$$

したがって, $f(x, y)$ のヘッシアンは

$$\begin{vmatrix} 4(3x^2 + 1) & -4 \\ -4 & 2 \end{vmatrix} = 8(3x^2 - 1).$$

この値は

$$(0, 0) \quad \text{のとき} \quad -1 \quad (< 0) \quad \text{【2 点】}$$

$$(\pm 1, \pm 2) \quad \text{のとき} \quad 16 \quad (> 0) \quad \text{【2 点】}$$

であるから, $(\pm 1, \pm 2)$ でのみ極値をとる. いずれの場合も, $f_{xx}(\pm 1, \pm 2) = 14 > 0$ であるから, 極小 であり 【2 点】, 極小値は

$$f(\pm 1, \pm 2) = 1 + 4 + 2 - 8 + 1 = 0$$

である. 【2 点】

- 5 不等式 $0 \leq x \leq 2$, $0 \leq y \leq 2 - x$, $0 \leq z \leq 2 - x - y$ で表される空間の領域の体積を求めよ.

$$\begin{aligned}
 V &= \int_0^2 \left(\int_0^{2-x} (2-x-y) dy \right) dx \quad \text{【4点】} \\
 &= \int_0^2 \left[(2-x)y - \frac{1}{2}y^2 \right]_0^{2-x} dx \\
 &= \int_0^2 \left\{ (2-x)^2 - \frac{1}{2}(2-x)^2 \right\} dx \\
 &= \frac{1}{2} \int_0^2 (2-x)^2 dx \quad \text{【4点】} \\
 &= \frac{1}{2} \left[-\frac{1}{3}(2-x)^3 \right]_0^2 \\
 &= \frac{2^3}{6} \\
 &= \frac{4}{3} \quad \text{【4点】}
 \end{aligned}$$

- 6 D を不等式 $x^2 \leq y \leq \frac{x}{2}$ を満たす領域とする. このとき,

$$\iint_D xy \, dx dy$$

を求めよ.

放物線 $y = x^2$ と 直線 $y = \frac{x}{2}$ の交点は原点 $(0, 0)$ と点 $(\frac{1}{2}, \frac{1}{4})$ である. 【4点】

よって, 領域 D は 2 つの不等式 $0 \leq x \leq \frac{1}{2}$, $x^2 \leq y \leq \frac{x}{2}$ として表すことができる.

したがって,

$$\begin{aligned}
 \iint_D xy \, dx dy &= \int_0^{\frac{1}{2}} \left(\int_{x^2}^{\frac{x}{2}} xy \, dy \right) dx \quad \text{【4点】} \\
 &= \int_0^{\frac{1}{2}} x \left[\frac{y^2}{2} \right]_{x^2}^{\frac{x}{2}} dx \\
 &= \int_0^{\frac{1}{2}} x \left(\frac{x^2}{2^3} - \frac{x^4}{2} \right) dx \\
 &= \frac{1}{2^3} \int_0^{\frac{1}{2}} (x^3 - 4x^5) dx \quad \text{【4点】} \\
 &= \frac{1}{2^3} \left[\frac{1}{4}x^4 - \frac{2}{3}x^6 \right]_0^{\frac{1}{2}} \\
 &= \frac{1}{2^3} \left(\frac{1}{2^6} - \frac{1}{3 \cdot 2^5} \right) \\
 &= \frac{1}{2^8} \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) \\
 &= \frac{1}{2^8} \cdot \frac{1}{6} \\
 &= \frac{1}{1536} \quad \text{【4点】}
 \end{aligned}$$